



関口 和男 議員



ハンセン病元患者家族に対する救済制度について

問 ①当該制度の概要を伺う。
②本市にも該当者がいるのか、相談等があるのか現況を伺う。
③差別や誹謗中傷による精神的苦痛は極めて大きいと考えるが、市長の所見を伺う。

答 ①2019年にハンセン病元患者家族に対する補償金の支給等に関する法律が制定され、補償金が支給されることになり、現在も厚生労働省にて、相談・

申請を受け付けている。②直接厚生労働省に対し相談等が行われるため、市として該当者は把握していない。市に対する相談等は、現在のところない。③国が進めているハンセン病元患者およびその家族への施策の周知に努める等、協力していきたい。

身体障がい者に対するインフルエンザワクチンの助成について

問 ①本市の現状を伺う。②ワクチン助成金の拡充が必要と考えるがいかがか。③誰一人取り残さない古河市の実現のため、まずは社会的弱者の救済が最優先と考える。市長の所見を伺う。

答 ①65歳以上、および60歳以上65歳未満で心臓等の機能に障がいがあり、身体障害者手

帳1級相当の方を対象に、2,000円助成している。②65歳未満で身体障害者手帳1級から3級の方を対象とした助成制度は、県内では4市町に限られているため、他自治体の取り組みや国の動向を注視したい。③新たに対象者を拡大することは、障がいのある方の重症化予防等の観点から十分理解できる。一方で、各年代のリスクを踏まえた支援や他の予防接種との整合性を図りつつ、事業全体を総合的に勘案しながら進めることが重要である。

五箇町 (10年前より)	埴町 (令和7年10月1日より)	古河市
65歳以上 2,000円	65歳以上 2,000円	65歳以上 2,000円
身体障がい者 1～3級 2,000円 (0～65歳未満)	身体障がい者 1～3級 2,000円 (0～65歳未満)	身体障がい者 1級のみ 2,000円 (60～65歳未満)
中学3年生まで 無料	高校3年生まで 1,000円	高校3年生まで 1,000円

参考資料

総務常任委員会 行政視察報告

視察日 令和7年10月28日から10月30日

視察地および調査事項

- ・三重県松阪市 コミュニティバスについて
- ・愛知県知多市 家庭系収集ごみ有料化の導入について

当委員会では、三重県松阪市、愛知県知多市を訪問した。

松阪市の地域公共交通は、鉄道・路線バス・コミュニティ交通などを組み合わせ、無料デーや路線の見直しに加え、協賛金制度による地域・企業との連携が特徴的であった。人口減少や自家用車依存などの課題を抱えつつも、ライドシェア等を拡充させ、持続可能な公共交通を目指している点は参考になった。

知多市の家庭系収集ごみ有料化制度は、住民説明会や広報活動を重ね、丁寧に進めた経緯のもと、導入前と比べ約16%の減

量を達成している。物価上昇や食品ロス削減への対応など、次の課題も見据えた取り組みは、学ぶべき事例であった。

これらの先進事例を参考に、より良い古河市の公共施策につなげていきたい。



行政視察（松阪市 議場）